

公益社団法人 日本交通計画協会

平成28年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時 平成29年1月24日（火）10時00分より11時00分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会
3階 B・C会議室
所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号

3. 理事現在数 7名
監事現在数 2名

4. 出席理事数 7名
出席監事数 2名
（出席理事）谷口守、中田康弘、岸井隆幸、川畑信之、飯塚義和、
石川次男、石川雅康
（出席監事）須原庸次、曾田祐司

5. 開会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事谷口守は定款第31条により、本理事会の議長を務めることとなった。

6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条第2項により議事録署名人は次の4名となった。

- ・代表理事 谷口守
- ・代表理事 中田康弘
- ・監事 須原庸次
- ・監事 曾田祐司

7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

承認事項

第1号議案 入社希望者に対する入社承認の件

報告事項

報告第1 職務執行報告

報告第2 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の実施

報告第3 公益法人における資産運用について

8. 議事の経過及び議決の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

第1号議案 入社希望者に対する入社承認の件

議長は上記1議案につき説明を求めた。事務局は、別掲議案書により日本電気株式会社より入社希望が提出されていること、同社の会社概要、事業内容について説明をした。

同報告説明に対しての質疑応答は特になし。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、同社に対する入社を承認した。

報告事項として以下について、報告を行った。

報告第1 職務執行報告

議長は上記につき報告をさせた。代表理事中田康弘は、別掲議案書により平成28年度の中間報告として、刊行物発行事業、講習会・シンポジウム等開催事業の実績及び予定、海外調査研究事業、広報関係事業、国際会議・催し物等開催協力の実績及び予定、受託調査研究事業関係についての報告を行った。

同報告に対して、次の質疑応答があった。

(石川理事) 受託調査研究事業によらない海外調査研究事業について、会員企業はじめ外部への情報開示や発表の機会があると、さらに事業に磨きが掛かるのではないか。

(中田代表理事) 現在のところ情報開示の方法として、調査の要点をま

とめホームページ等で公表することを考えている。

(石川業務執行理事) 情報発信をしていかなければならないという視点から、本協会が独自に実施するエッセンシャルセミナー等のセミナーにて成果発表をする必要性について議論中である。現在、「オーストラリアにおける公共交通調査団」の調査報告を平成28年度第2回エッセンシャルセミナーのテーマとして取り上げるべく、交通計画研究所にて計画、調整中である。また、セミナー開催の有無にかかわらず、実施した海外調査の報告書作成を必ず行っていくこととしている。

(谷口代表理事) 情報発信は積極的に進めていてもらいたい。

(川畑理事) 調査研究事業の受託状況は例年通りという理解で大丈夫か。

(中田代表理事) 件数としては概ね例年通り。受託状況を計る上では、件数も大切であるがより重要なのは金額である。

(石川業務執行理事) 本協会年度ではなく、業務発注者の大多数である官公庁の会計年度で受託状況を見ると、昨年度同時期の件数が48件、金額が4億6700万円であるのに対し、今年度は件数が54件、金額が4億9700万円となっており、若干の増加が見られる。今後の見込みとして、3月までに1800万円程度の受託が可能であるという予測を立てている。その後、官公庁の新たな会計年度が始まる4月以降には、また新たな受託が見込まれる。ただし、近来はライトレールの整備事業等、受託金額が高額な案件がいくつか存在するため、それにより全体の受託金額が増加している部分もある。最近の大型案件の一つである宇都宮LRT案件のように、事業が動き出し実際に建設工事へ着手する段階に掛かってきている案件では、本協会が直接関わる場面が少なくなってくる。今後国内の新交通システム、ライトレール関係の事業について考えると、後に続く都市がないというのが現状であり、本協会の受託量へ影響が生じることが当然に予想される。そこで、新たな都市交通の普及へ結び

付けていくような戦略を取っていく必要がある。国だけでなく地方公共団体等各官公庁へ公共交通の整備を促していくために、本協会の得意分野を積極的に売り込んでいくのはどうかという議論を内部的に行っており、今後受託金額が少なくなっていくことのないよう、努力をしていく。

(岸井理事) 受託業務はプロポーザルによる契約案件が多いのか。

(石川業務執行理事) 国関係業務は全てプロポーザルである。地方公共団体についてもプロポーザルによる案件が多くなってきているが、半分近くは随意契約の形をとっている。今後はさらにプロポーザルによる契約案件が多くなっていくと思われる。

(岸井理事) 宇都宮LRT案件のような大型案件が終了することを考えると、現在動いている案件の継続に努めると同時に、今後推し進めていくべき分野について重点的にリードしていく部分及び発掘していく部分を絞り営業を掛けていくこと、並びに入札・プロポーザル案件に取り組んでいくことを戦略的に行う必要がある。

(石川業務執行理事) 岸井理事の意見のとおり、戦略的な事業への取組みが不可欠である。その一端として、本協会が得意とする分野の売り込みを代表理事自らが積極的に実施する予定である。

(中田代表理事) 現在本協会との関わりの少ない自治体に対しては、協会に対する理解を深めていただくための情報発信をどのように行っていくことが効果的かを議論中である。現状関わりの多い自治体に対してはこれからも積極的に新しい情報を提供しつつ反応を伺い、関係性を持続させていく。

(岸井理事) すぐに業務に結びつかなくとも、数年後の案件につながるような提案を持ちかけていくべきだ。

(石川業務執行理事) 自治体の職員は、本協会からの提案を理解し、予算を確保していくというプロセスを経なければならないため、提案から業務開始まで数年掛かりとなってしまう

こともしばしばあるということを念頭におく必要がある。

(岸井理事) 一つ良い提案ができれば、それを元に類似の自治体へも提案ができるだろう。

(谷口代表理事) 例えば、環境省では低炭素化に向けた取り組みを行っているが、他省庁からのつながりで、案件が形成されていくことも考え得るのではないか。

(石川業務執行理事) 国交省以外の中央省庁の業務にも、本協会が知見を発揮できる案件がないかと目を向けているが、情報を掴むことが難しいというのが現状である。あらゆるつながりから、情報収集に努める必要がある。

(川畑理事) 宇都宮市から軌道構造物詳細設計業務の委託を受けているが、具体的な構造物の設計も行っているのか。

(中田代表理事) 設計業務は共同体で受託している。

(川畑理事) 本協会にあまり馴染みのない業務内容かと思うが、共同体の中で作業分担をしているのか。

(中田代表理事) 作業分担をし、本協会は関係機関との調整業務を中心に担当している。

(石川業務執行理事) 最近の公共工事においてはコンストラクションマネジメント方式が用いられることがあるが、それに類似した事業内の全体調整等の役割を本協会が担っている。

報告第2 運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の実施

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、本協会の監督を行う内閣府から「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく立入検査の実施について通知があった旨報告を行った。

同報告に対して、次の質疑応答があった。

(川畑理事) 立入検査は初めてか。

(石川業務執行理事) 公益法人に移行してから三年半が経過しているが、初めての立入検査である。

(谷口代表理事) 他の団体の立入検査については、話を聞いたことはあ

るか。

(石川業務執行理事) 初期の段階で検査を受けた公益法人協会からは話を聞いている。

(谷口代表理事) 万全の体制で検査に臨んでもらいたい。

報告第3 公益法人における資産運用について

議長は上記につき報告をさせた。業務執行理事石川雅康は、別掲議案書により、事務局職員が外部講座にて収集した公益法人における資産の運用の情報について報告を行った。

同報告に対して、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 法律上は、資産の運用方法は自由なのか。

(石川業務執行理事) 現在の制度では、あくまでも法人の責任において行うものであり、運用方法に制限はない。

(谷口代表理事) 外部講座の受講は義務であったのか。

(石川業務執行理事) 義務と言うことはなく、現在の本協会の財務状態から考え、有益な情報を得られるものであるという考えの下、受講した。

また事務局より、平成29年6月中旬から下旬に来年度の事業計画と予算の承認を中心とした平成28年度第4回理事会開催したい旨を説明した。

理事・監事全員で協議したところ、平成28年度第4回理事会を平成29年6月20日(火)10時00分より、開催することを決定した。

9. 閉会

以上をもって平成28年度第3回理事会の議事を終了したので、議長谷口守は、11時00分閉会を宣し解散した。

上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以 上

平成29年 1月24日

公益社団法人 日本交通計画協会 平成28年度 第3回理事会

話を聞

議案書の運用

て行う

態から
考えの

と予算
た。
成29年

谷口守

及び監

上

代表理事 谷 口



代表理事 中 田 康



監 事 須 原 庸 次



監 事 曾 田 祐 司



本議事録の作成に関わる職務を行った者の氏名

業務執行理事	石川雅康
事務局主幹	大溪はつみ
事務局主事	中村幸人

